

校訓
至誠励業
剛健成風
操守堅固



発行所
東京福中・福高同窓会
〒160-0023
東京都新宿区西新宿8-4-1
ナルコビル2F
黒永会計事務所内
TEL 03-3363-0118
FAX 03-3363-0366
Eメール
office@tokyo-fukuchufukkou.jp

《活躍する同窓の仲間たち》
第2回 高塾
アフガニスタン・パキスタン国
境地域で献身的な活動を続ける
中村哲さん(高17回)が講演

医師として、人として
戦乱の地で苦しむ人々の
診療に、水利工事に、農場建設
に汗した20余年を
当たり前のように淡々と語る



て淡々と語る無欲恬淡な中村さんの姿に、参加者は尊敬の念を抱くばかりであり、中村さんが私たちの同窓であることに、改めて誇りを感じました。
(企画委員会)

昨年10月19日。東京はいにくの空模様でした。午後7時からの開演に向けて多くの同窓生が集まって来られました。セミナーでは、最初にペシャワール会20余年の活動を紹介するビデオが上映され、その後、現地



後々現地の人の手で修復できるようにと、アフガニスタンの伝統的な工法と日本古来の農業・土木技術を用いた手間ひまかかる地

創立90周年記念事業を兼ねた第2回目の福高塾セミナーには中村哲さんを講師としてお招きし、20年以上にわたるパキスタン・アフガニスタンでの医療活動や水源確保事業活動などについて講演いただきました。長引く戦乱や干ばつなどその過酷な中で活動について

ものを考える。これは、今回の中村さんのお話の中で何度も出てきた言葉でした。国民の9割が農民・遊牧民であるアフガニスタンの人々は、「金は無くても食べていけるが、(山々が頂く)雪が無くては食べていけない」という諺が示すように、かつては雪解け水で潤った畑を耕し、大地の恵みを受け自給自足の生活を送る民族でした。しかし10数年にわたる内戦・2000年夏以来の大干ばつ・2001年9月の同時多発テロ後の空爆・その後の戦闘激化により大地は砂漠と化し、多くの人がが難民となり飢え、病み、傷ついていきました。医療活動を行いな

ものを考える。これは、今回の中村さんのお話の中で何度も出てきた言葉でした。国民の9割が農民・遊牧民であるアフガニスタンの人々は、「金は無くても食べていけるが、(山々が頂く)雪が無くては食べていけない」という諺が示すように、かつては雪解け水で潤った畑を耕し、大地の恵みを受け自給自足の生活を送る民族でした。しかし10数年にわたる内戦・2000年夏以来の大干ばつ・2001年9月の同時多発テロ後の空爆・その後の戦闘激化により大地は砂漠と化し、多くの人がが難民となり飢え、病み、傷ついていきました。医療活動を行いな

中村 哲さんプロフィール

ベシャワール会現代表、PMS(ベシャワール会医療サービス)総院長。九州大学医学部卒業。国内の診療所勤務を経て、1984年パキスタン北西辺境州の州都ベシャワールに赴任。ハンセン病を中心としたアフガニスタン難民の診療に携わり現在に至る。

※ベシャワール会は、中村医師の医療活動を支援する目的で1984年に結成された団体で約12500人の会員を有しています。2007年12月時点でベシャワール会事務局によると、パキスタンでの活動は08年3月までで終えることになり、その後アフガニスタンへ移動する予定です。アフガニスタンの用水路建設は、同年春の完成を目指し突貫工事中。医療活動については、従来のタラエ・ヌール診療所を固めながら、パキスタン移転の受け皿造りを準備しつつあるという段階ですが、いずれも流動的な状況です。
<http://www1a.biglobe.ne.jp/peshawar/>



何をしたら「いけない」のか？」を相手の立場に立つて考えなければいけない。中村さんの民族・国境を超えた人間への愛情にあふれたお話にあって、という間の2時間でした。

会場では、中村さんの著書『医者井戸を掘る』をはじめ現地での中村さんや日本人スタッフの奮闘を描いた8タイトルの本がサイン入りで販売されました。

講演前から手に取る人も多く、終了時には用事を一緒に回りました。

大きな感動のもとに福高塾セミナーを無事終えることができ、企画委員一同は「母校が創立90周年を迎える記念すべき年であり、東京同窓会として何か事業をやりたい」との馬場会長の考えを、企画委員会として具現化できないものかというところから始まりました。そして一昨年から



中村医師自らユンボを運転



中村医師自ら井戸掘りに従事

用水路工事中、米軍のヘリに工事のダイナマイトを誤認、機銃掃射されたことも



り組んでいる福高塾セミナーに、ペシャワール会現地代表の中村哲さん

「農村の復興こそ、アフガン再建の基礎」の信念である中村哲医師、同じ高17回のわたしたちは、毎年東京福中福高同窓会の総会・懇親会場でペシャワール会支援活動の募金をみなさんにお願

を講師としてお招きすることに決めました。しかしながらその実現には、様々な課題がありました。中村さんの活動拠点であるパキスタン・アフガニスタンの政治情勢が不安定なことに加え、日本への帰国期間が非常に短く、しかも、その間に多くの講演スケジュールが組み込まれていたのです。にもかかわらず、同窓会やペシャワール会関係者の多くの方々のご協力を得ることができ、無事の開催となりました。

企画から実行に至るまでたくさんの同窓生とかわることができました。異国の人々のために命を懸けて活動をされる同窓生、その活動を長年にわたり支え続ける同窓生、悪天候のなかで講演に参加

高17回から 同窓のみなさまへ

「農村の復興こそ、アフガン再建の基礎」の信念である中村哲医師、同じ高17回のわたしたちは、毎年東京福中福高同窓会の総会・懇親会場でペシャワール会支援活動の募金をみなさんにお願

その結果、19年度の懇親会の会場ではこれまで最高の17万6650円の募金額となりました。みなさんのご協力を心より感謝いたします。今年も20年度総会でも募金活動を行います。引き続き、同窓のみなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。



貧しいけれども素敵な笑顔のアフガン子供達

鈴木惇君(高60回) 福高からJリーグに挑戦 U-18日本代表選出、得点も!



サッカーリーグJ2で、J1昇格を目指し戦っているアビスパ福岡。そのU-15からU-18の日本代表にも選出された経験

を持つ、福高3年生の鈴木惇君(高60回)を昨年9月、放課後の学校でインタビューしてきました。

鈴木君がサッカーを始めたのはアメリカにいた幼年期。帰国後も地域のクラブチームに所属し、小学3年生のときにアビスパ福岡のジュニアチームへ。以来ずっとアビスパでプレーしています。

中学時代には、合計5、6回全国大会に出場するという貴重な経験を、特に中学3年の最後の大会で準優勝したことが一番の思い出のこと。そして、大会後の1月から塾に入って本格的に勉強を始め、福高に。

サッカーに集中できる高校に行くという選択肢もありましたが、「サッカーだ」と思われたくない」との思いもあり、また、チームメイトに既に福高に通っている先輩や、修猷館や筑紫丘を目指す同級生がいたことにも影響を受けたといえます。

入学後、サ



ッカーと学校生活の両立はハードなもの。アビスパユースの練習は、メンバーの学校がばらばらのため開始が遅く、家に帰って食事や風呂を済ませると夜11時くらいになってしまふ毎日。週に1日、練習が休みになる月曜日を利用して、1週間分の予習や課題などを集中的にこなしていたとか。

高1の夏休みに初めてトップチームと呼ばれ、翌年も招集。そして、シーズン前の2月のキャンプに参加したときには、ある程度チームに慣れてきて、いいプレーを見せることができたといえます。

そこから徐々にトップチームの練習に呼ばれるようになり、高3の5月には、J2の練習試合で成果を残し、試合に出る機会を得られるようになって



取り組んでいる、高校生活だと話してくれました。

卒業後は、まずアビスパでプロ選手になることが目標であり、いざれば日本代表に呼ばれるようになることが目標となり、いと意欲的な鈴木君。しかし、けがの可能性や語学の有用性を考えると、「サッカーだけ」の選択をせず、パソコンで授業を受けられる大学で、学びを深めたいとも語ってくれました。

目標に邁進し続ける鈴木君を応援していきたいと思っただけのインタビューでした。

(取材：酒匂貴市 高57回)

ゴルフコンペ 福友会 優勝并明記 二宮 嘉昭 (高4回)



筆者は後列右から三人目

また一つ、遊びの勲章が出来た。第24回福友会ゴルフコンペに優勝したからです。「高四陽会(高4回生)は、福友会の落ちこぼれジャケンナー」と、東京支部長の松旭俊作君を嘆かせていたのに、ナント、この快挙? となったのです。

これは、福友会会長の世利卓郎さん(高2回)や、幹事の小野塚満郎さん(高16回)の心優しい配慮のお陰と感謝しています。

その結果、今回は15アンダーという、マユツバ的なネットスコアで優勝することが出来ました。私の名譽のため、ハンディについては、ご勘弁願いたいと思います。また、今回のコンペは、優勝カップの取り切り戦も兼ねていましたので、幸運にもカップは私の手元に永久保管されることになりました。皆さまには改めて、感謝申し上げます。



東京あさぼらけ新聞創刊10号記念特別企画 あなたにとつて

同窓会って何だろう?!

東京同窓会が直面する問題をどう解決する?

年に2回東京福中・福高同窓会(以下、東京同窓会)の常任幹事会が開催されていることを何名の会員がご存知だろうか。ここ数回の常任幹事会では財政の問題をめぐって東京同窓会のあり方を考える話し合いが行われ、改革検討委員会が立ち上げられた。これを受けて、東京あさぼらけ編集委員会では各学年の常任幹事にアンケートを行い、東京同窓会の活動についてのご意見を伺った。アンケート結果を踏まえ、また常任幹事会で承認された拡大改革検討委員会の報告を交えながら、今後の東京同窓会の位置づけや活動の方向性について考えてみた。ぜひ会員の皆さんの意見、提案などお寄せいただきたい。

(編集部)

会員の皆さんの意見と提案と行動を

財政の問題

ここ数回の常任幹事会での話題の中心は財政の問題である。平成15年度末の繰越金は約523万円だったが、平成18年末は249万円となり、3年間に274万円が目減りしている。この間、ホームページをリニューアルしたり、4月の同窓会総会・懇親会で学生の参加を無料にしたなどの経費がかか

ったことによるが、同窓会の活動が軌道に乗り、発展・拡大の方向に進んでいるための必要経費であり、かつ常任幹事会ですの時々に承認されてきた結果である。

しかし、このままの活動を続けると平成21年には繰越金はなくなる計算となり、東京同窓会は消滅の危機(あるいは活動縮小の危機)にさらされる。「なくなってもいいじゃないか?」という意

収入増か経費減か

常任幹事会で話し合

れたなかで年間会費2千円の納入者数がここ数年90数十人で横ばい(名簿掲載名数は3000人強)であることを受けて、

会費を3千円とする意見もあった。しかし、拡大改革検討委員会(コラム)では、値上げの前にもずは経費に無駄がないかどうかを検証する方針が出され、その後の常任幹事

会でも確認され、総会・懇親会費や名簿、東京あさぼらけ新聞などの経費を洗い直すこととなった。

会費の話が出てきたので東京同窓会と会員の位置づけについて、一部の方に誤解があるようなので、ここで触れておきたい。東京同窓会は福岡の同窓会の「支部」ではなく、独立した組織であり、福岡同窓会のように卒業したらもれなく自動的に会員ということではない。

東京近郊などに住む福中・福高の卒業生で自主

的に年会費を払い込んだ同窓生が会員となつて構成している集まりだ

任意参加であるからこ

そ東京同窓会は、会員が

ぜひ会員でありつづけた

いとと思うような場の提供

や活動が求められるわけ

だ。それと同時に各会員

の主体的参加と活動によ

つて支えられる性格をも

っていることも改めて強

調しておこう。

名簿配布の取り止め

名簿については事務局管理のために作成はするものの、会員への配布のための製本は行わない方針が常任幹事会で承認された。

この判断は経費削減と

いうだけでなく個人情報

保護という時代の流れに

沿ったものであり、この

方針に同意する常任幹事

も多かった。

しかし、「同窓会名簿は

同窓会活動をしている証

なのでは。たとえば、他校

の人から見て福高の同窓

会には名簿もないのか。

同窓会の絆がないのだな

あとみられませんか?」

「配布を希望制にすれば?

学生が就職活動を

するとき、先輩の声を聞

くことができる」という

意見もあった。

名簿を配布しないこと

この判断は経費削減と

いうだけでなく個人情報

保護という時代の流れに

沿ったものであり、この

方針に同意する常任幹事

も多かった。

しかし、「同窓会名簿は

同窓会活動をしている証

なのでは。たとえば、他校

の人から見て福高の同窓

会には名簿もないのか。

同窓会の絆がないのだな

あとみられませんか?」

「配布を希望制にすれば?

学生が就職活動を

するとき、先輩の声を聞

くことができる」という

意見もあった。

名簿を配布しないこと

で生じる会員間の不都合

には今後、何らかの手当

が必要となるだろう。

コラム1

改革検討委員会メンバー

昨年1月31日に開催さ

れた常任幹事会で、収支

の不均衡(繰越金減)が指

摘され、同窓会が持続可

能な財政基盤を作るべく、

改革検討委員会が設置さ

れた。メンバーは企画担

当副会長・山田氏(高20)、

事務局長・黒永氏(高26)、

名簿担当副会長・古賀氏

(高29)の3氏。検討結果

を6月18日の常任幹事会

にかけた際、役員内部だ

けでなく常任幹事の各世

代の意見を取り入れては

という提案があり、「拡大

改革検討委員会」を設置

することになった。先の

メンバーに、平野氏(高

6)、柴田氏(高14)、馬場

崎氏(高22)、古橋氏(高

33)、久間氏(高42)、森氏

(高43)、時枝氏(高56)が

参加し、昨年夏に集中的

に話し合いがもたれた。

コラム2

常任幹事って?

会則では「常任幹事は

各回の推薦により、会長

から委嘱される」が、同期

会の推薦まで受けて常任

幹事になっている人は若

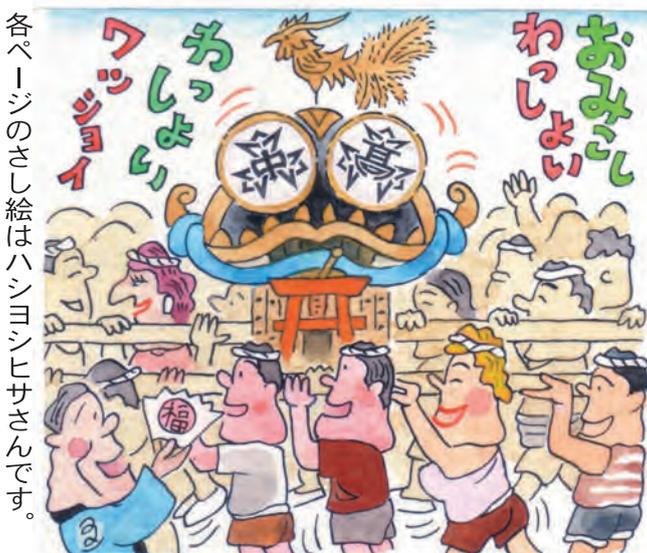
い学年になればなるほど

少ない。常任幹事は常任

幹事会に参加するほか、

各回の中心となつて東京

同窓会の情報を会員に伝



各ページのさし絵はハシヨシヒサさんです。

常任幹事の仕事

冒頭にも紹介したが、東京同窓会ではさまざまな決めごとの承認はすべて常任幹事会で行われる。現在、中学から高校58回生まで40名ほどの常任幹事(コラム2)の参加がある。ここまでの参加人数になったのは、東京同窓会事務局と各回常任幹事による呼びかけの成果であるが、その常任幹事の仕事への取り組み方はさまざまである。



「誰かがやらねばならないので、できる人がやらなければならない」と思っている「仕事をやりながらだと正直重たいが、年代を超えた人々、同じ高校で学んだ先輩後輩との交流は魅力が大きい」。そのほかの意見でも、負担が大きく、面倒に感じているものの、責任や義務を感じて務めている姿勢が浮かび上がった。

報伝達、役員会と各委員会、常任幹事間の距離を縮めることを狙いとし、昨年9月13日の常任幹事会ですべての年2回の常任幹事会開催を年3回にするのが承認された。よりいっそう活発な議論がその会議で行われ、役員にとって身近に感じられる同窓会活動につながればと思う。

らい前から毎月1回以上集まって準備をしていくが、「皆様いろいろ考え企画されてなかなかいい」という感想がある一方、「年々企画が充実してきた、それは結構なことですが、半面、同窓生同士の懇談の時間が十分に取られていないようです」といった声も少なからずある。

同期会だけでなく、すべての学年が集う総会・懇親会であるからこそ、先輩後輩という夕テのつながりをもたせた企画を検討しなければならないようである。限られた準備期間でこうした希望と課題への対応について幹事学年に全部お願いするのは現体制

から考えるとやや厳しいと思われる。そこで、「当番幹事オンリーではなく、もう少し幅広く皆のアイデアや意見を取り入れてもよいのではないか」という常任幹事の意見もあるように、総会・懇親会の企画の部分で当番幹事をバックアップするよう体制が求められているように思う。

この記事をまとめるにあたって考えるのは、現在の議論の流れである「財政が成り立てば東京同窓会が成り立っていい」といった枠組みでの捉え方でよいのだろうかという点である。東京同窓会発足の当初は豊かな財源などなかったはず。お金がない同窓会運営を考えればいいのであって「同窓会の意味や意義、そのあり方(像)と具体的な活動について」といった大事な基本に対する議論はなされてい

く」といった枠組みでの捉え方でよいのだろうかという点である。東京同窓会発足の当初は豊かな財源などなかったはず。お金がない同窓会運営を考えればいいのであって「同窓会の意味や意義、そのあり方(像)と具体的な活動について」といった大事な基本に対する議論はなされてい

昨年創立90周年を迎えた本校は、それ以降、多くの卒業生を東京に送り出してきました。故郷を離れた地で、母校を想い、同じ学び舎で過ごした青春を振り返りつつ、先輩後輩の輪が広がり、交友を深めていったであろうことは想像に難くないでしょう。

このように形作られてきた東京同窓会に長年携わった者として、過去を振り返り、今を見つめる

いように感じている。会の活動と財源は車の両輪だという考えもあるだろう。いずれにしても、今回の拡大改革検討委員会の提案どおりに財政の問題が解決するめどが立たなければ、いや、同時進行で、東京同窓会が何を目指して存続するのかという基本の議論をすべきではないかと考える。

和23年4月のことよ... 進藤先生を会長、坂本新蔵さん(中1回)を事務局としてスタートした東京同窓会は、年1回、日本工業倶楽部等で総会を開催していました。毎回集まれる50余名の顔ぶれはおおよそ決まっております、参加者の一番の楽しみは進藤先生にお目にかかることだったようである。進藤先生は来らっしゃるとな?」が挨拶でした。 当時は、当日に会費を徴収しただけで終わりと

総会・懇親会の運営

編集部雑感

東京同窓会のこれまで、今、そしてこれから

会長 馬場 一廣(高3回)



戦後、東京では中1回の卒業生の活躍が目立ち、桑原廉敬先輩(中16回)が本紙創刊号に「同窓会の思い出」として次のように話されています。「第1回東京同窓会開催の頃は、中1回卒の進藤一馬先生と東京都議会議長をやった大ボスで体も凶太い浦部武夫さん、それに電通の副社長だった坂本英男さん達がござった。だから福中同窓会の発会式は電通本社で開かれた。昭



東京同窓会の礎を築いた 桑原康敬さん(中16回)の ご逝去を悼んで 副会長 水月 和子(高4回)

昨年5月11日、桑原康敬さんがお亡くなりになりました。

桑原さんは、昭和23年に東京福中同窓会が発足した時からお世話をされ、東京福中・福高同窓会の礎を築いてくださった方です。

平成13年に、

は大いに盛り上がるもの、高卒生は少数なためか、参加することの満足感は必ずしも大きくなかったものです。出席者は70人前後で90人も出席すれば大成功という規模でした。時の流れとともに高卒生も少しずつ多くなり、名称も東京福中・福高同窓会となったところから、同窓会の組織化が話題になってきました。

東京同窓会の誕生

藤先生が福岡市長になられてからは加藤正さん(中3回)が会長に就任され、会則の制定、名簿の作成、役員を選任等、同窓会の組織化の準備が急速に進められました。

から現在まで

平成2年2月24日、第1回東京福中・福高同窓会(以下、東京同窓会)は、日本工業倶楽部で開催され、三野定会長(中15回)が亡くなられた後、これから高校卒の同窓生が中心になるのだから、次期会長は高校卒から選ぶべきだと現会長の馬場一廣さんを強く推されたのも桑原さんでした。

昨年頂いた最後のお手紙に「同窓会の素晴らしい発展と旺盛な活力に驚いています。馬場会長を推したことは、正解であったと実感しています。」とありました。

桑原さんがいつも大切に思っていたこの東京同窓会を、ますます充実発展させることが、私どもの務めだと強く感じています。

桑原さん、ありがとうございました。心からご冥福をお祈り申しあげます。

れ、参加者235人と、会場はぎゅうぎゅう詰めの大盛況でした。総会を開くまでの経過報告、会則の提案と承認、役員を選任等が行われ、同窓会としての組織が承認され、今日につながる総会・懇親会のスタートとなりました。

東京同窓会の現状

現状の活動を以下に紹介いたします。

【組織面】
・各回学年幹事、役員参加の常任幹事会の開催(年3回)
・当番幹事団による、1年間に及ぶ熱心な総会・懇親会の準備と実行
・活動の協議と決定のための役員会開催
・会員の総会・懇親会の開催

【企画面】
・大学生と東京同窓会との連携、常任幹事会への参加
・大学生を懇親会へ無料招待
・ホームページの開設とリニューアル
・東京あさぼらけの発行
・勉強会(福高塾)の開催
【経費面】
・年会費と有志による援助寄付・広告など
このように活動が活発になってきましたが、いくつかの課題も発生して

【東京同窓会のこれから】
東京同窓会は、「会員相互の交誼を厚くし」「母校の発展を助成する」を目的としています(会則3条)。「交誼を厚くする」には、先輩後輩の出会いがあり、そこでなつかしき、うれしき、喜び、誇り、やる気等が湧き起こり、同窓会に参加して、「楽しい」「楽しみだ」というようになって欲しいと思います。そして、大きな出会いの場である総会・懇親会は、派手でなくてもよく、マンネリを排した当

きています。私が考える最重要課題は、1000人弱の会員の皆様から年会費として納入いただいている年間200万円弱の原資をもとに、いかに魅力があり、かつ持続可能な「財政と同窓会の運営」を行うかです。

これについては、昨年9月13日開催の常任幹事会で「拡大改革検討委員会」からの提言を検討し、その結果、妥当な結論が得られたと思います。また、この特別企画記事によつて会員の皆様にも同窓会の現状を知ってもらえたのではないかと思います。「同窓会はみんなで育てる」という意識がさらに高まることを望みます。

人は利他(思いやりの心)と自利の狭間で生きています。先日、創立90周年記念事業として中村哲さん(高17回)を招いた福高塾を開催しました。その際、中村さんに「貴方の無私とも思える『人を思う心』は、いつごろから育つたのでしょうか?」と尋ねたところ「福高時代です」と答えられました。さらに中村さんから逆に「そうではありませんでしたか?」と問われたことに、私は感動しました。参加者はそれぞれ心洗われる気持ちで帰路につきましたが、これも同窓会行事の大切な一つでしょう。

東京同窓会は卒業生を基盤とし、各回常任幹事

ミシュランガイド
三つ星店に
福高OGのお店が

東京あさぼらけ(第4号)にも登場いただいた、三田啓子さん(高22回)が店主を務める「玄治店濱田家」が、ミシュランガイド東京版で、最も卓越した料理と評価される「三つ星」店として選ばれました。世界中でも三つ星レストランは68店しかないそうです。心からお祝い申し上げます。

や当番幹事、各種委員、役員等、お世話をする人と参加する人がそれぞれの立場を理解し合い、力を合わせて同窓会文化を創り上げて、後輩に伝承していくのだと思います。福中・福高を母校とするかけがえのない絆を大切に、全員参加で同窓会を楽しく意義あるものにしてほしいものです。

母校福高は、創立100年に向けて遅くスタートしました。福岡同窓会もこれを援助することを宣言しています。東京同窓会はまだまだ力不足ですが、いづれ母校のためにその存在感を発揮できることを夢み、今後益々の発展を期待しています。

常任幹事から 東京同窓会に思うこと 原点は「出会いの場の提供」に尽きる ——名簿配布中止はぜひとも再考を

今長谷 浩(高29回)

私が東京福中・福高同窓会(以下、東京同窓会)の存在を知ったのは、今から6年前、2002年の総会・懇親会の当番幹事に誘われた時が初めてでした。その後、常任幹事になったのは、私の勤務先と自宅が都内なので常任幹事会に出席しやすいという安直な理由から同級生に指名され「しゃーあんなかね」とやむなく引き受けたというのが経緯です。

このような経緯の私が歴史ある東京同窓会について語るには、多くの熱心な先輩方に失礼じやないかと気が引けるのですが、若干感じていることを述べます。

私は中学から大学までのクラスやクラブなど、多くの同窓会に関わっています。ある同窓会では会長が組織を強化することに熱心で自分の意見に合わない人間を排除したため、ついでいく人がいなくなつて崩壊寸前までいったことがあります。結局、その会長には降りてもらつたのですが、組織ができるとその本来の目的達成よりも組織の維持・強化が第一義となる

「当然、東京同窓会の「出会いの場」の最大のイベントは総会・懇親会ですが、これは少し派手すぎないように思われます。400名以上も集まり参加人数が多いことは結構で「さすが福高！」などと言われると虚栄心がくすぐられるので、仕事や趣味・地域活動などで活用させてもらうこともできる貴重な「出会いの場」と捉えています。

同窓会名簿のない同窓会には「カレールイス」のようなものと言つたら言い過ぎでしょうか。このことによつて、東京同窓会の求心力が急速に弱くな

るのではないかと非常に心配です。住所などを掲載することに同意する人だけで名簿をつくつて配布するなど、やり方はあるように思い、ぜひとも再考していただければと考えています。

《役員人事の紹介》

期途中でありますが、役員人事の異動がありましたので、ここにご紹介いたします。新役員は昨年9月の常任幹事会で承認されました。

◆副会長(総務担当)
(新任)光安 健(高11回)
↑(副会長のまま会計兼

務)馬場紀久夫(高10回)
◆副会長(広報担当)
(新任)古賀芳和(高29回)。名簿・会員拡充担当と兼任↑(兼任)久能真理(高18回)
◆会計
(新任)馬場紀久夫(高10回)。副会長と兼任↑(兼任)吉村光正(高20回)

新役員あいさつ

副会長 光安 健(高11回)

仕事や遊びに夢中だった私に、運命的な出会いが訪れた。昭和58年の花園ラグビー場。母校の応援に一所懸命な私の肩を叩いた20数年ぶりの同級

生。その年の秋、博多へ転勤となり同窓会デビュー。数年後、東京に戻つて同窓会を立ち上げ、東京同窓会の設立に関わつて大勢の素晴らしい先輩後輩に出会えた。いい出会いには、時と場所も重要な要素であると私は考える。今後も、縁や絆を感じながら楽しい出会いの場と時間を大切にしたいと思つている。

作品募集中
原稿、書画
俳句、短歌、詩
なんでも、どしどし
お待ちしております。

東京同窓会の現状を考える 参加意識を高め、 力を合わせて活性化を

副会長 光安 健(高11回)

この「東京あさぼらけ」も多くの同窓生の活躍を知ることができる貴重な「出会いの場」でしょう。また、昨年開催された「福高塾」のペシヤワール会・中村哲さんの講演会も非常に感動的な「出会いの場」でした。この時ほど東京同窓会の常任幹事をやっていて良かった、福高生で良かったと思つたことはありませんでした。

卒業と同時に自動的に会員になる福岡同窓会と違い、東京同窓会は東京近郊に住む卒業生が、参加し会費を収め、運営に参加するものである。新たに組織化されて17年を経過し、4月の総会や東京あさぼらけ新聞・名簿の発行などと活動を続けている。活動をしていく

中で前述の課題も生じているが、課題を解決すべく「改革検討委員会」が設置され、より良い同窓会への提案がなされているので、それに期待したいと思います。

OB会だけと思われ。そこで、4月開催の懇親会について近年の動向から考えてみたい。出席者の増大に伴い会場も広くなり、交流もままならぬ状況になつてはいないだろうか。せっかく会費無料で招待した若年層(学生)が、会場の隅で黙々と飲食のみを終始しているのではな

流の話題は何か。同窓会の重要な狙いである縦の交流が少ないのではなか。採算面以外でも課題があるように感じている。

懇親会をさらに活性化し意義あるものにするには、当番幹事の知恵出しと、役員・常任幹事の支援と出席者の協力が必要だろう。次に、同窓会の財政の問題を考えよう。任意参加の同窓会であれば、会員であり続けたいと思う魅力ある同窓会でなければならぬ。そのためには、懇親会・同好会・新聞・

最後に、同窓会の運営は、役員・常任幹事の指導力をもとより、会員一同の参画意識の向上が肝心と考えている。力を合わせて活性化を進めてい

各卒業年次では、同級生による同期会が、福岡のみでなく東京地区でも盛大に開催されている

盛んに開催されている

盛んに開催されている

盛んに開催されている

盛んに開催されている



**53歳、気分はまさに
トップアスリート**
中村知治(高24回)

東京のど真ん中の中央通りや銀座4丁目の交差点を、車でなら走ったことはあっても、自分の足で走ったことのある人は、そげんはおらんでしょ。私は、昨年の2月18日に開催された第1回東京マラソンに出場することができたおかげで、この夢のごたるコースを自分の足で走ったとです。走りながら見上げた東京の町並みは、一味もふた味も違っていました。気分はまさにトップアスリート。今回は、その体験を報告します。



開催の知らせが出たのは、前年の春頃だったでしょう。日本一の市民マラソンということでは、

人の多い新宿でもこれにはビックリ。一番はトイレ。仮設トイレがあちこちにたくさん設置されていました。何処も30分以上の待ち行列。ラーメン屋ならいざ知らず、トイレに並ぶとは...

スタートの号令に遅れた人も少なからずいたと思います。もうひとつ大変だったのは荷物の運搬。スタートとゴールが同じ場所。ところが、東京マラソンは新宿・都庁前スタートで海沿いの台東区の東京ビッグサイトがゴール。つまり、走る人の荷物をゴールまで運ばんといかんです。そのために都庁前には10トトラックがずらり。20台くらいはおったでしょう。あらかじめ指定された番号のトラックに荷物を預けるんですが、これがまた大変! 何度も言いますが2万5千人。人を掻き分

け指定のトラックを見つけてのが大仕事。着替えをして、トイレに並んで、荷物を預ける。たったこれだけのことなのに、それを終えてやつとスタート地点に立った時にはへとへとでした。そこでまた問題発生。大事な準備運動をしてないことに気付きました。でもスタート地点も2万5千人。朝の通勤の電車のホーム状態。準備運動は走りながらやることにしました。

スタート地点では30分以上待たされましたが、周りには大阪から来たおばちゃんや、長野のおっさん、カナダの兄ちゃんなど多士(?) 済済で賑やかでした。いよいよスタート! なのになかなか動き出しません。そのうち、そろそろと歩き始めてスタートラインを通過するのに6分ほど掛かりました。後でテレビを見て驚いたのは、先頭集団は脱兎の如く飛び出していた。こりゃレベルが違いすぎる。こうして第1回東京マラソンはようやくスタートしました。

以上が私の東京マラソン顛末記です。後は夢心地で42.195kmを完走しました。品川近辺では、あの、有森裕子選手ともすれ違

いました。沿道は何処も応援の人たちであふれていました。スタッフの人たちも、給水やらなにやら懸命にサポートしてくれ、この点でも日本一のマラソンでした。

「どうして、きつただけのマラソンやらすると? 面白かと?」とよく聞かれます。私にとつてはチャレンジなんです。マラソンを始めたのは50歳を目前にした5年前の冬。一度くらいはフルマラソンとやらを経験してみた。自己ベストの3時間54分。それ以来、練習を積み重

増上寺、銀座、人形町、浅草と名所を走って観光し、また東京農大名物大根踊りや高校生

のチアリーダー等、途切れぬ沿道の応援をお祭り事に至らなかつたことなど、多くのボランティアの丁寧な対応の賜物と非常に感謝しています。汗でびしょびしょのウェアを着替えてビッグサイトを出た時には薄日が差し、まさに晴れやかな気持ちとなりました。完走記念メダルを持ち帰り、「人形町の水天宮様に走りながらお礼してきたよ」と4カ月の息子の首に掛けてあげました。

**雨のち晴れ!
東京名所を堪能しながら
駆け抜け、
息子に贈った完走メダル**
中村英樹(高29回)

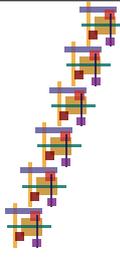
最後は足が動かなくなりましたが、十分な練習もできず、今回の目標を完走としていたので記録が自己ベストの3時間54分台でも納得し、笑顔でゴールしたつもりです。

報道ではいろいろな問題をとり上げられていますが、悪天候の中、完走率が97%と驚異的な数字を残し、体調を崩したラ



完走メダルを胸にかける裕樹君と愛妻の知子さん

「師縁」に感謝 戦時下で夜、 先生宅で教わったことが 現在に生きる



宮原守男(中26回)



私は昭和19年4月に福岡商業3年から本校3年5組(担任は黒木茂先生)に転入しました。福岡商業と本校との間に学力差があるという理由で3年を2回すれば転入を許可するということでした。それでもなお転入したかという、本校に入ってもっと勉強したいと考えたからです。

しかし、転入した途端、全員工場動員で、西原鉄工所で双翼機の補助翼を作ることになって勉強が出来なくなりました。それで、数学を白石茂先生(モタさん)、物理化学を八代実忠先生(ゲタさん)、漢文を竜正成先生(ドラゴン)に自宅で夜教わをお願いすることにしました。白石先生と八代先生の自宅では、3年生は私ひとり、あと5、6人は受験を控えた4年生ばかりの集団授業で、竜先生は個人教授でした。翌昭和20年8月終戦です。学校に復帰して全員



勉強出来るようになりました。私ほかの3年生が工場動員で働いて学校の勉強をほとんどしていなかったのに、私は夜、先生の自宅で勉強を続けていたお陰で、4年の成績が修練(教練)だけ良で、そのほかはすべて秀(優)のうえで、平均が秀、席次は特一(同学年で一番)となり学術優等賞をもらいました。

現在、弁護士をしています。その当時の数学

と物理化学の素養が役に立っています。本田技研の学術財団の理事、行動計量学会等の役員をする傍ら、「コンピュータによる裁判の予測」という多変量解析の数学の論文を書き、日弁連での懸賞論文の一等賞を受賞し、これが機縁で神戸大学法学部で計量法理学の集中講義をするようになりました。また、静岡駅前ビル爆発事故で、静岡ガスの依頼を受け、爆発の原因

がメタンガスなのか、都市ガスなのかの法廷論争で、物理化学の基礎勉強が大変役に立ち、勝訴することが出来ました。ロッキード事件(田中角栄元総理の裁判)の主任弁護士となり、検察官との法廷弁論でも漢文の素養がおおいに役立ちました。教育者森信三先生は、人間形成のためには、師縁による教え、つまり、師(先生)との出会いによる教えで磨かなければならないといわれておられます。私は本校に転入して師縁を得たことに感謝しています。

ばれる日々。人に誇れることは何もないけれど、主婦として2人の娘と2人の孫娘に恵まれ、平凡な日常の中にいつだって今が一番幸せだと感じてきた。

今、上の娘が電車で10分ちよつとの所に住んでいるので、週4日(泊まりも含めて)孫娘たちの世話に呼び出される。よその人のそういう話を聞いていた時はなんと過保護な親バカであることよと思っていたのに、いざ自分の身になると人にはいろいろな事情があり仕方がないのだと思えるのだから、やはり私も親バカなのかもしれない。

もう若くないし子守兼家政婦は大変なよと思窓をこぼしつつ、2度目の子育てに関われるなんて幸運だと思っている。何より子供たちが可愛い。村光正さん(高20回)のお誘いで敷地内の集まりは、少人数で日程も考慮してくださる同窓会とあってよりやはり、娘の大変さを少しでも肩代わりしてやりたい、という思いが強い。私自身はすでに2人の娘も自立して夫婦だけの暮らしなので、時間だけはたっぷりある。私たちの世代の人はとても能動的で、勉強に仕事に趣味に広く深く、国内外に活躍している人が身近にも多い。それを思うと私の世界はとても狭いと思うし、ちよつぴりうらやましくも感じるけど。

各地で開かれている同窓会などにもこんな事情でほとんど出席したことがないし、同じ団地の吉村光正さん(高20回)のお誘いで敷地内の集まりは、少人数で日程も考慮してくださる同窓会とあって、私は日本一のおばあさんよとは言えるはずもないし。ただただ時間に流されながら、幸運にも無事に生きてこられたのだと思える。

縁あってこの度の『東京あさぼらけ』の投稿のお話をいただき、ちよつと自分を見つめ直す機会になってよかった。これからも日々子供たちの成長を楽しみ、私たちの穏やかな老後願って、ささやかな幸せをかみしめていきたいと思う。

団地同窓会③

2人の孫娘の「ばあば」の 幸せをかみしめて

内田 明子(高15回)

高校生活を終え40数年、気持ちの上では大して変わりのないのに、今では2人の孫娘に「ばあば」と呼



エキスパート グループホールディングス 株式会社

代表取締役
会長兼社長

中川 博迪

(高12回)

本社
〒100-6220東京都千代田区丸の内1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内
TEL:03-6267-4700 FAX:03-5219-3338
http://www.exaghd.co.jp

あふれる自然と語らいとリフレッシュのときを



同窓生 & 博多弁割引
滝誠嗣(高12回)
〒962-0622 福島県岩瀬郡天栄村
大字田良尾字芝草1-3333
TEL: 0248-85-2368
meil: info@ringonoki.biz
http://www.ringonoki.biz/index.html

多品種少量生産向機械総合メーカー



- ・チューブ 充填機
- ・チューブ シール機
- ・クリーム 充填機
- ・液体 充填機
- ・キャッパー
- ・エアークリーナー
- ・その他

省力化の水先案内人

株式会社 シバタエンジニアリング

〒243-0055 横浜市港南区日野南2-21-6
TEL 045-835-2577(代) FAX 045-825-2578
http://www.shibataeng.co.jp

代表取締役 柴田智恵子 (高6回)

飲食事業

※福高卒業生の方、サービス致しますのでお気軽にご連絡下さい!

らーめんむつみ屋
青い山一丁目店
こだわりのスープで作った
自慢の味!

〒170-0061
東京都港区北青山 1-3-3-5F
TEL:03-5772-3300

鳥こまち UPPERDOORS 赤坂店
安く、おいしく、
お洒落に!

〒107-0052
東京都港区赤坂 4-2-2-1F
TEL: 03-5114-3355

串こまち 新宿三丁目店
旨い料理と
旨い酒!

〒160-0022
東京都新宿区新宿 3-7-3-2F
TEL:03-5363-6701

あしたの元気軒 ハイカラらーめん食堂
あしたの元気軒
食はらーめん!
夜は居酒屋!

〒160-0004
東京都新宿区四谷 3-3-1F
TEL:03-5363-6570

イベント事業

TV・展示会・イベント・セレモニー・
キャンペーンなど、様々なシーンにモデル・MC
イベントコンパニオン・役者などを派遣しています。
お気軽にお問い合わせ下さい。

一押しタレント! 高橋優ちゃん
(趣味は釣り・日本史・ものまねです!)



大澤 まいの

株式会社ミューズ

代表取締役 大澤美保子(旧姓:永江) 高36回

〒107-0061 東京都港区北青山1-3-3-5F TEL03-5772-3300/FAX03-5410-3323
Mail info@muse-sava.com/HP www.muse-sava.com

福中・福高同窓会

会長 小林 彰 (中25)

事務局 〒812-0044

福岡県福岡市博多区千代1-5-19

Tel・Fax:092-641-7258

http://www.fhs-dosokai.com

辰巳会

福高11回同窓会

東京支部

山本 健二

バリトン歌手
(高3回)



福岡市有形文化財

住吉神社能楽殿

(福岡市博多区住吉 住吉神社境内)

昭和13年に建てられた総檜造の能舞台は、屈指の名舞台として全国に知られていました。老朽化し、顧みられなくなったこの舞台の保存活用運動に取り組んでいます。

能楽師 重要無形文化財保持者 白坂保行(高39回)

昭和二十四年一月十日扶桑創製

味の明太子

博多の味として全国で親しまれています「明太子」は昭和二十二年に弊社創業若川原俊夫が独自の製法を考案、加味して創りあげたもの。翌昭和二十四年一月十日「十日えすの日」より「味の明太子」として販売いたしております。

www.fukuya.com

ご注文・カタログのご請求は

フリーダイヤル 0120-86-2981
FAX 0120-86-2904

携帯電話からもご利用いただけます

味 味の明太子
博多中洲 fふくや

本店/〒810-8629 福岡市博多区中洲2丁目6-10

ふくや<味の明太子>はふくや直営店、又は通信販売にてご購入いただけます。

総合建設コンサルタント(一級建築士事務所併設)

JASDAQ 上場 証券コード: 9647

株式会社 協和コンサルタンツ

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1丁目62番11号 KECビル
TEL. 03-3376-3171(代) URL. <http://www.kyowa-c.co.jp>

代表取締役社長 **高柳 義隆** (高7回)

道路 橋梁 河川 上下水等
公共物の計画・調査・設計

都市計画・まちづくり

施工管理
専門技術者派遣

システム企画・開発
各種情報処理サービス

ビル・マンションの
アセットマネジメント

耐震診断・耐震設計

環境教育・環境学習

玄治店 濱田家



三田 啓子 高22回

東京都中央区日本橋人形町3-13-5
電話 03-3661-5940 FAX 03-3808-0801
E-Mail info@hamadaya.info
<http://www.hamadaya.info/>

移転祝い・上場祝い・開店祝い・設立祝い、etc...
法人様専用の胡蝶蘭販売サイト

胡蝶蘭ビズ

<http://www.kochouran-biz.com>



胡蝶蘭ビズは...
お届けする胡蝶蘭の品質に徹底的にこだわっています。
専門のスタッフが選び抜いた胡蝶蘭のみを、自信を持ってお届けします。

* 胡蝶蘭ビズで検索してください

胡蝶蘭ビズ

検索

株式会社ビューティ花壇

〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 全国たばこセンタービル8F
TEL : 03-5776-5850 FAX : 03-5776-5851
URL : <http://www.beauty-kadan.com>

常務取締役 馬場崎 修 (高22回)



博多 味蔵

九州だけの
こだわりの美味を
贈ります。



●フリーダイヤル
0120-014-269

●ホームページ

<http://www.ajikura.co.jp>

森 伸明(高49回)

博多 登録 商標



東京 新三浦

築地店 銀座店

☎ (03) 3564-1761

白井 善三郎 (高3回)

おいしきひとすじ、
健康に良いお菓子を...

五十二萬石 如木庵

森 恍次郎 (高18回)

森 英俊 (高44回)

TEL (092) 431-0052(代)

<http://www.52-net.com>

東京福寿会
高10回 東京同期会
会長 瓜生 喜久雄

板橋区サンシティ 団地同窓会



大石 勇吉 (高1回)
内田 明子 (高15回)
吉村 光正 (高20回)



〒812-0043
福岡市博多区堅粕1-30-1
電話 092-651-1986
<http://www.ishikura-shuzou.co.jp/>

石蔵 利正 (高29回)

石蔵酒造 株式会社

成長企業の財務面からの経営コンサルティング

株式会社 アヴァルセック

All Value Securitization = AVALSEC
企業が保有するあらゆる資産価値の証券化を
アレンジメント



本部 〒105-0013
東京都港区浜松町2-1-18 トップビル3F
電話03-5777-1500 FAX 03-5777-1501
本社 〒813-0011
福岡県福岡市東区香椎1-8-20
電話092-681-2408 FAX 092-681-2408

代表取締役
有田 明浩(高30回)

Eメール arita@avalsec.co.jp
URL <http://www.avalsec.co.jp>

博多へお帰りの際は、ぜひご利用ください。

ふるさと博多で
特別なひととき。

PRE
S
IDENT
HOTEL HAKATA

スレジデントホテル博多

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-23-5 TEL.092-441-8811 FAX.092-441-8662
URL : <http://www.presidenthotel-hakata.co.jp>

友杉 貴一 (高16回)

博中・福岡同窓会の指定ホテルとしてご利用ください。

有田焼、伊万里焼販売(有) 三階菱
ホームページ: www.sankaibishi.net

産地直送、有田陶器市
全国有名百貨店にて開催中

上質でお値打ちの商品を多数取り揃えてお待ちしております。

安川 健(高28回) TEL048-838-5656

Asahi アサヒビール株式会社

会長 池田 弘一
(高11回)

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1丁目23番1号
電話: 03-5608-5111(代表番号)
http://www.asahibeer.co.jp/

くが 脳神経外科 クリニック
院長 空閑茂樹
(高18回)

〒819-0041 福岡市西区拾六町5-17-17
TEL 092-894-3777
FAX 092-894-3788

国土交通副大臣
衆議院議員

わたなべ ともよし
渡辺 具能
(高12回)

馬場・澤田法律事務所
Baba&Sawada Law Office

馬場 一廣 (高3回)

〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目16番2号
全国たばこセンタービル7階
TEL: 03-3437-3005(代) URL http://www.b-slaw.com/
FAX: 03-3432-5070 E-mail babalaw@cc.mbn.or.jp

FIRST DESIGN NETWORK
商業施設・オフィス・ショールーム
デザイン・設計

代表取締役
岡本博幸(高20回)

東京都渋谷区恵比寿1-23-9
〒150-0013
TEL: 03-5423-5150
FAX: 03-5423-5160
E-mail: okamoto@f-d-n.co.jp

林・土井 国際特許事務所

弁理士
土井 健二(高26回)

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-9-5
第三東昇ビル3階
電話 045-475-2351
URL http://www.hayashidoi.com

つくし特許事務所

弁理士
大音 康毅(高7回)

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-14
301号室
電話 048-823-3400
e-mail: ohototan@sepia.ocn.ne.jp

心はいつも福高生

八起会 関東支部
(高8回)
TEL 03-3600-7490

**伝えたい想い
ありませんか?**

自分史・エッセイ・研究論文・
紀行文・詩歌集・小説・創立記
念誌・その他、企画づくりや原
稿のまとめなど、お手伝いさせ
ていただきます。

〒07-0061 東京都港区
北青山1-4-1
ランジェ 青山808
(株) **トロント**
TEL 03-3408-1521
FAX 03-3408-1448
http://www1.u-netsurf.ne.jp/
~AF100393/toronto/

石寄信憲 法律事務所

弁護士
石寄信憲(高19回)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7
福岡ビル6F
TEL 03-3272-2821
FAX 03-3272-2991

黒永会計事務所

税理士 **黒永 哲至(高26回)**

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-4-1
ナルコビル2F
TEL 03-3363-0118(代) FAX 03-3363-0366
http://www.kuronaga-ac.com/

原口法律事務所

弁護士 原口 紘一 (高15回)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-16
ダイカンプラザシティII 304
TEL 03-3361-9633
FAX 03-3369-6664

博多に行ったら

丸山 陽子 さん(高7回)
陽子の部屋

〒810-0801 福岡市博多中洲2丁目1-5
陽光ビル5F
TEL (092) 271-2646 飲んで
TEL・FAX (092) 271-2664 語ろう!!

東京「陽子の部屋」応援団
団長 福士義彦(高14回)

高四陽会
初の共学一期生

古希を過ぎても、
みんなと会えば、
青い山脈唄い出す!

ぷいっさんはいぶ
加茂 千絵
(高29回)

810-0801 福岡市博多区中洲二丁目4-20
第21ポールスタービル2F
(092) 263-0146



BRICs今昔物語 グローバル市場を相手にした ビジネスマン生活の思い出

安崎 暁(高7回)

今勢いのあるBRICs諸国とは以前から仕事上の関わりが深かった。
Bのブラジル
会社として最初の海外工場を1975年に設立した。「21世紀は我々の時代だ」と当時のブラジルの人々の鼻息は荒かった。ところがどうも、好調は長続きせず、インフレ、通貨不安などで日本からの投資は紙屑と化した。赤字が続いても簡単には撤退できない。

不振のブラジル国内の需要をあてにせずアメリカ市場向けの輸出工場に転換して急場をしのいだ。東京本社の色ばかりを見ないで現地の事情に合った経営をせよというため、現地法人の社長の任期を10年と長くして辛抱した。

何度かの暴騰暴落の場面を経て、資源大国ブラジルの事業は2000年以降好調が続いている。長期戦略の下で、しぶとく事業の発展に取り組み日本企業のものづくりの努力が今、報われている。

1970年代、誰も行きたがらなかったソ連との間で森林や石炭の開発プロジェクトを会社として推進した。木材や石炭を輸入し、長期金融をつけて日本から開発用の資材を輸出するプロジェクト。80年からは石油、天然ガス用のパイプライン建設プロジェクトにも取り組んだ。

ソ連時代は生活が極端に不自由。モスクワで日本食にありつくなど当時では夢のまた夢。現地事務所があったホテルのトイレを台所に改造して、日本からの出張者が共同で自炊していた。今では

多数の日本料理店が誕生して観光客のみならず、多くのロシア人の舌を楽しませている。
北方四島がまだ返還されていない。
ゴルバチョフの時代、日本に人がおらず、解決のチャンスは逃げてしまった。

目や鼻を唱えるだけでは問題は片付かない。
ロシアと日本を取り巻く国際情勢という(天)の時。四島自身そのものの価値というよりも、極東シベリアの地政学的重要性、日露両国の関係という(地)の利。問題を命がけて片付ける覚悟のある、両国指導者(人)の出現。天、地、人の三要素がそろわないと問題解決には至

年代のこと。街の建設工事や小さなダム工事はまだ人手で行っていた時代だ。
民営化、規制緩和の動きがインド国内で高まってきたのは1980年代後半。このころ国営企業との関係を解消し、民間企業との提携に切り替えた。インフラ建設用の機械の市場規模が中国を凌



左が安崎さん。右は中国の次世代指導者の一人と目されている李克強氏。李氏は2007年政治局常務委員に昇格した(2002年8月に会見。当時、李氏は河南省長)

駕する可能性を否定できないくらいにの勢いが出てきた。
Cの中国
共産党政権が成立したのは1949年。毛沢東時代の躍進、文化大革命の出来事は当時の日本人には理解し難かった。今、当時の事情を解明する歴史文書が出版された。これを読むと「そういうことだったのか」と合点のいく話が少なくなる。

多くの産業分野で日米欧の先進国市場の成長率が鈍化している。その一方で、BRICsやMENA(中東、北アフリカ)などの新興国市場の成長で新しいチャンスが到来している。自分のビジネス

「論語と算盤を両立させる」。若いころ洪沢栄一の伝記を読んで共感した。コンプライアンスの源流だ。「権力は腐敗する。権力にへばりついて老害をさらすな」。住友の伊庭貞剛の言は暗黙の命令として自分の進退に影響を与えた。(元コマツ社長・会長、元国家公安委員)

法人のトップの何名かは中国人となつている。79年技術提携契約の交渉で北京に100日間長期滞在した。卓を挟んで打々発止とやり合っていたとき、先方に「安崎さん、日本の国としての勢いはせいぜいあと25年続くかどうか。そんなに頑張らずに中国に少々の譲歩をしたらどうか。30年後の中国人から感謝されることになりませう」と真顔で説得されたことがあった。

福高には転校生として1年間お世話になった。転入前の都立高校と2つの同窓会に出席して旧交を温めている。高校、大学を通じて、本や恩師、友人から学んだことが人生の糧となつていて、ことを実感する。

「論語と算盤を両立させる」。若いころ洪沢栄一の伝記を読んで共感した。コンプライアンスの源流だ。「権力は腐敗する。権力にへばりついて老害をさらすな」。住友の伊庭貞剛の言は暗黙の命令として自分の進退に影響を与えた。(元コマツ社長・会長、元国家公安委員)

「シヨールームのお姉さん」頑張る！ 博士号を取得し 次の目標へとチャレンジ

豊貞 佳奈子(高42回)

現在の仕事は、トイレでお馴染みのTOTO(株)で行政・研究機関との折衝業務と環境影響評価研究を担当しています。昨年3月に同研究内容で博士号(工学)を取得しましたので、僣越ながら博士号取得にいたる経緯について執筆します。

私は中学3年生の時に父の転職で大阪から福岡へ転校しました。転校して直ぐに両親が土地を購入し、ちょうど福岡に入居した頃には、新居のため住宅会社の営業マンが度々我が家を訪れました。父は大学教授で、構造・破壊力学を専門としていたことから、当時の住宅会社では前例がないような設計を実現させてしまいました(今から思えば厄介な客だったと思いません)。私は壁紙・

大学は主に住宅設計を学べるという日本女子大学家政学部住居学科へ進みました。「環境」「衛生」に興味をもち、ゼミは給排水衛生設備学を専攻しました。



就職は、専門分野を生かせるということと、本社が福岡県内にあるという理由でTOTOに入社しました。配属希望は、叶わず、シヨールーム勤務は高校時代に憧れた住宅設備のコーディネートでしたが、専門性を高めたいという思いは消えず、

2年後には転職を考え大学の先生に相談しました。しかし建設業界は不況の真っただ中でしたので、「転職よりも社内異動を考えた方がよい」とアドバイスを受けました。その後、一級建築士の資格取得をきっかけに今の上司から声がかかり、技術営業の傍ら、「環

境影響評価研究」に携わる機会を与えられました。住宅設備を設置・運用した際の地球温暖化への影響、CO₂排出量等等を定量的に評価する手法の研究です。



しかし機会は与えられたものの、当時は業務時間中に研究活動をするような余裕は全くありませんでしたので、休日を使った研究、論文執筆活動が続きました。上司の口癖は「チャンスは二度とは来ない」でした。私より優秀でチャンスに恵まれない人は山ほどいるのだから、これを逃したら次に参加してくれませんでした。昨年4月21日に行われた総会・懇談会には大学に入学したばかりの59回生も参加してくれました。前年入学した私は一つ下の学年がもう入学してきたことに時の経過の早さを感じました。そして、あれからまた1年近く、東京あさぼらけの編集に参



加してまだ間もない私ですが、4人の新一年生へのインタビュを思い出しながらまとめてみました。ことです。生活者の立場から主婦として母として環境問題を論じることの出来る女性になりたいと強く願っています。

最後に、「シヨールームのお姉さん(?)が博士号をとることもある。志をもつていればチャンスは訪れるものだ」ということを、後輩の皆さんにお伝えします。



左から西崎さん、浅野さん、中村さん、城戸さん

福高魂で頑張りました！

浅野純子さんは高校時代は体育委員会に所属しており、東京大学文科三類に進学。希望は国際連合入り。なかでもUNESCO(国連教育科学文化機関)で働きたいと。英語上達のために大学ではE S Sに所属し、さらにフランス語の勉強にも力を入れていると張り切っていました。

中村有沙さんはバレエボール部に所属。横浜市立大学国際総合科学科に進学しました。今一番興味があるのが英語で将来の夢はJICA(国際協力機構)に入ること。その夢の実現に備えて、大立大学国際総合科学科に入学しました。今一番興味があるのが英語で将来の夢はJICA(国際協力機構)に入ること。その夢の実現に備えて、大立大学国際総合科学科に進学しました。今一番興味があるのが英語で将来の夢はJICA(国際協力機構)に入ること。その夢の実現に備えて、大立大学国際総合科学科に進学しました。

最後に西崎萌恵さん。東京芸術大学楽理科で音楽の歴史を学んでおり、楽譜の研究などを行っています。やはり音楽に最も興味があるということ。JAZZサークルに所属し、楽器演奏を楽しんでいます。なかでもフランス音楽に最も興味がありフランス語の勉強にも励んでいます。

59回生の参加は女子だけでしたが、私がインタビューした彼女たちはみな外国と関連している仕事に就きたいという夢をもっており、とても国際的な印象を受けました。(取材：山本玲 高58回)

体力勝負でテレビ番組製作10年! 仕事を通じて知った 東西文化の違いや人の魅力

森 崇王(高 43回)



「痛え〜…背中が!」椅子を2つ並べた上で目が覚めたのはゴミの山と化した会社。表層は派手だが実態は不人気3K職場。「ああ:ロケ行かなくちゃ」と睡眠不足とタバコの吸い過ぎでパンパンになった顔を叩きながら今日も仕事が始まった。テレビ番組制作を生業として始めて10年が経つ。テレビ東京『ワールド・ビジネス・サテライト』を経て今のメインは『ガイアの夜明け』担当ディレクター。一応看板番組の担当であるのは嬉しいが、福高を出て世をすねた文学部に所属していた自分がまさか「ニッポン経済」の最前線を取材する現場に居合わせようとは夢にも思わなかった。取材者ならではの裏話

を一つ。「企業文化って東西でここまで異なるのか」と感じる人がよくある。日本人なら誰もが知っているある業界のライバル会社AとB。大阪に本社があるA社、広報に問い合わせると「私はその担当ではないのです。がわかる限りでは…」と対応してくれる。さらに「そのような企画意図だったら△△もあるし、1週間後のイベントも撮影できますよ、どうぞですか」と1つ投げると3にも4にもなつて転がっていく。さすが商売上手でサービスピ精神旺盛な関西!

一方、東京が本社のB社、問い合わせをすると「担当者がいないのでわからないんですよ。明日にでもかけ直して下さい(え、折り返してこないの…)翌日、運良く繋がっても「ちょっと上や技術者に聞かないと不確かかなことは…2、3日待つてくれますか(おいおい何も判断できない広報なんていらねえじゃん!)」

ライバル同士の商品についてリサーチが1日で済む大阪A社と1週間はかかる東京B社、当然マスコミに出ているのはA社ばかりで、B社は滅多にお目にかからず、売上も然りだ(もちろんマスコミへの露出だけで決まるものではないが)。たとえどんなに良い商品・サービスを提供できても、それを効果的に伝えなければ売れないし、その後の発展もないわけで、企業の経済活動にとつてモノの伝える方がどんなに重要か、常々強く感じさせられるところである。良い意味でマスコミを「使う」企業が勝つていくんだなあ。

ただ企業取材は往々にしてPRになりがちで心情的にはつまらないこと多いのだが、経済番組の一番の魅力は、ありとあらゆるジャンル一流の人々に出会えること。戦後ニッポンの復興を担った伝説の人、一年間で300億円売りさばくカリスマ女性バイヤー、はたまた鹿児島名産「黒豚」を復活させた老人など枚挙にいとまがない。それぞれの世界でシビアに戦うそのパワーと非凡さに圧倒されるのだが、皆共通しているのが、個々の活動の遠い先に彼

**卒業35周年に70名が集合
講演&ウォーキングで
深まる親睦**

中西 和也(高25回)

高25回は、福岡で全体同窓会の幹事を務めた約15年前から「福高二コニコ会」の名のもとに福岡や東京で度々集まり、楽しい時間を共有してきました。

2007年6月に行われた35周年記念行事は、「健康」をテーマに企画され、参加は恩師を含めて70名、藤野先生(数学)、牧先生(体育)、高原先生(数学)、久保田先生(国語)、山本宝紀先生(世界史)、森山先生(体育)にもご参加いただき、盛大なものとなりました。

東京からも4名が参加し、宴会や旅行と違うこのような企画は、他の卒業回の皆様の参考になるのではと思います、その概要を報告いたします。

最初は千代町のパピヨン24で講演会を行い、講師や解説役はいずれも同級生。国立病院機構九州医療センター循環器センター長・森田茂樹君の講演

当日は天候にも恵まれ、土曜日の午後博多の中心部を約1時間半かけて皆で歩くという行動をとることにし、同期の結束が一段と深まったような気がしました。

聖福寺の塔頭の節信院では、住職を務める同期の喜納浩一君の解説で明治維新時の秘話なども聞いて認識を新たにしました。すべて福高の校区の中で、すぐ近くにありながら今まで歩いたこともない地域の散策は新鮮な感動がありました。2次会はハイアット・リージェンシー福岡で盛り上がりました。このような企画が実現できるのも高25回の坂井会長、塚本幹事長以下、福岡在住の役員の方々の賜物であり、また池田(辻)さん、堂浦(宮田)さんのホームペー



親に内緒で部活動 弓道部の思い出

塚崎 倫代(高33 回旧姓了戒)

33回の弓道部員は、男子6名、女子1名の7名でした。私たちの入部前に練習場となっていた東公園の弓道場は、県庁舎の移転工事のため取り壊しになり、九大病院の片隅にある附属医療短大の弓道場を週3日借りて練習をしていました。

練習時間が限られていたので、練習中は集中してやっていました。それ以外は、和気藹々とした楽しい部でした。

私の両親は運動部に入るのを反対していましたので、両親には内緒で入部していました。弓は部所有の弓を使い、矢は自分用のものを弓道場においていましたから、親に知られることなく最初の半年が過ぎました。

ところが、秋の昇段審査の直前、部の男子が申込書を自宅に届けてくれたとき、私が留守中で、またまた父が応対し書類を預かったのですが、弓道部といっても父に話が通じず、大変気まずく、怖い思いをしたらしいのです。

男子が家に来ることなど、ありません。当時、修猷館、筑紫丘と福高で3校戦をやっていました。今も続いているのでしようか。福高にも弓道場ができたので、持ち回りやられますね。数年前、福高弓道部がインターハイに出場するとうニュースに嬉しく、懐かしく思いました。

昔と違って、毎日熱心に練習した成果でしょう。これからも福高弓道部の活躍を陰ながら応援しています。

結果オーライでした。男子は大変仲がよく、部活中は的中率などを部誌ノートに毎日記載していました。

引退後も交換ノートと化した部誌ノートをまとわしていたのを覚えています(まるで文芸部ですわ)。私も時々ノートを覗いてもらって加させてもらってました。残念ながら、今では顔をあわせ



る機会がなかなかありません。

福高で3校戦をやっていました。今も続いているのでしようか。福高にも弓道場ができたので、持ち回りやられますね。数年前、福高弓道部がインターハイに出場するとうニュースに嬉しく、懐かしく思いました。

出版しました

『黎明よ、疾く覚めて闇を打て!』

(文芸社1600円+税)

小山 清孝(高14回)

私は、このほど『黎明(しのめ)よ、疾(と)く覚めて闇を打て!』と題する自伝的小説を出版した。副題、「新しい科学技術誕生の物語」とあるように、一つの学問的な発見がいかにしてなされた

さらには、人間や企業の様々な思惑が入り混じった激しい暗闘の中で、それが工業技術までいかにして開発されていくのか、その過程を若い化学研究者の心の成長の軌跡として描いた。題名もペンネームの仰木望も、聖書からのものである。

スポーツの世界などでは、目に見える形で多くの人たちと感動を分かち合うことができる。サイエンスや技術開発も、同じ人間に関わった感動に



満ち溢れた人間ドラマである。学生など若い人たちや企業の事務系の人を含め広く一般の人にも知られざる研究開発の現場について知っていた、書きたいとの願いを込めて書いた。ほぼ1年間、仕事の合間を縫いながら睡眠時間1日3〜4時間を通してまとめた400字詰め原稿用紙600枚の作品である。

取り上げたテーマは、①鉄道の省エネ効果とJR東日本の取組状況②現在のJR東日本が各線に投入している通勤電車のベースとなった「京浜東北線」を走る車両の開発③2007年に山梨県の小淵沢と長野県の小諸を結ぶ「小海線」に登場したハイブリッド車両(エンジンとバッテリーの両方で走ることができ、自動車の「プリウス」の様な車両)の開発④現在開発に取り組んでいる「燃料電池」(石油等の化石燃料に頼らず、水素と酸素から電気エネルギーを生み出す装置)を用いた車両の開発の4点です。

鉄道技術に関する解説書ですが、表現は極力平易なものとして一般の方にも読みやすいよう配慮しています。ご一読いただければ幸いです。

黎明よ、疾く覚めて闇を打て!

新しい科学技術誕生までの道程

仰木望

長い夜はついに明けた! だが再び、最高速120km/hの列車の中心部... 最新の科学技術を生み出している心臓部を覗く。

新しい科学技術誕生までの道程

文芸社の新書(文芸社1600円+税)

民間化後もJR東日本で引き続き開発を担っています。

JR発足後の車両開発は、国鉄時代にも増して、コスト

◇ご寄付・広告に お礼申し上げます

東京福中・福高同窓会では、同窓会活動に対する資金援助として、当紙面での広告のほかに、昨年総会時から一口1万円のご寄付のお願いをしております。広告と寄付を合わせますと2007年12月現在の合計金額は90万円を超えました。ご協力ありがとうございました。

◇ご寄付いただきました方のご氏名をここに掲載させていただきます。(括弧内の丸囲み数字は口数です)

- ◆山下徳夫様(中17回)
- ◆松尾完吾様(中23回)
- ◆馬場一廣様(高3回)
- ◆出口親様(高3回)
- ◆山本健二様(高3回)
- ◆山本健二様(高3回)
- ◆渡邊浩一様(高5回)
- ◆山下妙子様(高6回)
- ◆馬場紀久夫様(高10回)
- ◆山田晴信様(高20回)
- ◆緒方健一様(高21回)

◆東京にしき会様(高24回)
- ◆休の会様(高9回、19回、29回)

◇ご寄付についてのお問い合わせは、古賀芳和(名簿・会員拡充委員会委員長、連絡先は19頁をご参照下さい)までお願いします。

目標は「ソロ飛行」！ 上昇気流に乗って グライダー飛行を楽しむ

石井 哲次郎(高13回)

世の中、色々な趣味をお持ちの方がおられますが、私の趣味の一つにあまり人がやらない「グライダー操縦」があります。「日本学生航空連盟」という大学が加盟しているグライダーの連盟がありませんが、この連盟を全面的に支援しているのが、私が勤務していた朝日新聞社です。

この連盟を応援する目的で10数年前に朝日新聞社の中に社内同好会として「朝日グライダークラブ」を作りました。現在クラブ員は私たちOBも含めて20数名。このクラブでグライダーを1機所有しています。滑空場と格納庫は埼玉県熊谷市妻沼の荒川の河川敷にあり、学生たちと一緒に飛んでいます。

「グライダー」はハングライダーやパラグライダーと違って、年に一度、国土交通省の厳密な検査(耐空検査)があり、安全を非常に重視しています。機体に表示されたナンバ



ーはジャンボ機などと同じ通番になっていて世界で1つしかありません。動力のついていないグライダーを上空まで上げる方法は2つあります。主に学生たちが使う「ウィンチ曳航」と、われわれ社会人が使う「飛行機曳航」です。

「ウィンチ曳航」は2000メートルでも上がり、1時間以上飛び続けます。目に見えない上昇気流をいかにつかむかが

グライダーの醍醐味はここからです。上昇気流がないと、15〜16分で降りてしまいますが、うまく上昇気流をつかむと1000メートルでも上がり、1時間以上飛び続けます。目に見えない上昇気流をいかにつかむかが

グライダーの醍醐味はここからです。上昇気流がないと、15〜16分で降りてしまいますが、うまく上昇気流をつかむと1000メートルでも上がり、1時間以上飛び続けます。目に見えない上昇気流をいかにつかむかが

グライダー操縦の腕のみせどころです。操縦は通常、複座で、後ろに乗る教官の操縦桿と前席のそれは機械的につながっています。初心者のころは教官が操縦桿を操作しますが、私の場合は教官が軽く手を添えます。

る程度で、離着陸も含め、ほとんどの操縦を前席の私がします。目標は教官が乗らない「ソロ飛行」です。

5、6時間飛べる気象条件のいいオーストラリアでの合宿も計画しています。

高51回の永田敏さん

世界水泳選手権出場

OB・OG会の発足式で激励会

昨年2月、福高・福中水泳部OB・OG会「緑泳会」の発足式において、永田敏さん(高51回)Ⅱ写真Ⅱの世界水泳選手権出場激励会が行われました。

になるチャンスをつかんだのは、2001年に福岡で行われた世界水泳の代表候補合宿のとき。当時、大学のチームでもスタメンではなかったため、この招集に大変驚いたのですが、「せっかく候補に選ばれたのなら上手くなりたいし、代表に入りたいたい」と必死に練習し、その結果代表選手

中学生のとき競泳をしていた永田さんは、高校入学1カ月後、中学時代に共に競泳をしていた友人に誘われて水球部に入部。夏は毎日遅くまでプールで練習、冬は東公園でランニングや市民プールでの練習などに明け暮れたとのこと。

水球部の顧問である寺崎先生、周崎先生に水球の楽しさを教わったことにより、卒業後も水球を続けて、現在はなんと、水球の日本代表選手として活躍しています。

永田さんが初めて代表

たため、この招集に大変驚いたのですが、「せっかく候補に選ばれたのなら上手くなりたいし、代表に入りたいたい」と必死に練習し、その結果代表選手



に。インターハイ、ユース日本代表の経験もなく、大学も推薦ではなく一般入試。そんな永田さんが日本代表に選ばれたことは、本人を含め、多くの方がビックリしたとか。

メルボルンにおいて昨年3月に行われた世界水泳選手権でも、水球部門の日本代表として出場しました。この選手権は、水球では実質世界一を決める大会ですが、残念ながら日本は16位(最下位)という戦績で終えました。

しかし、永田さん自身は、この大会で「チームのために」という意識を「自分らしさを出す」というものに変えて試合に臨み、以前よりチームにとってよりプラスに働く攻撃的なプレーができたという手応えを感じたそうです。

次回出場は今年のワールドリーグ予選です。この大会でも永田さんの活躍が期待されています。(取材：井村円香高56回)



博多便り

山笠があるけん博多たい！
いつか自分も締め込み姿に

森 伸明(高49回)



東京生活8年間(学生4年間、社会人4年間)を終え、博多に帰ってきて2年が経ちました。毎日、明太子(無着色)とラーメン(替玉硬麺ね)を食べるのが日課になっていきます。「やっぱ、博多の飯はうまか」と実感する毎日です。皆さん、博多っていいですよ！

と言いつつ、19歳、26歳まで東京で暮らしていた私は、意外と博多のことを知りません。「天神の西通り?」「国体道路?」「山笠っていつから始まる?」「汗」。

とこんな感じの私です。みんなに馬鹿にされるのも無理はありません。福高に通っていたころは、学校と家の往復ばかりで



したし、ラグビー部に所属していた私は、グラウンドでの思い出はあっても、天神での思い出はほとんどありません。東京の皆さんも同じような方は意外と多いのでは?

ということ、博多に帰ってきたら、「博多らしいことをせないかん」と思いました。と同時に頭の中に「山笠があるけん博多たい!」という言葉が浮かびました。「そうだ!博多の男やたら山笠に出らな血が踊ってきました。と、気合を入れたまではないものの、新人社員である

と榎田神社の入り口付近に陣取り、最高の場所で行って来ました(嬉)!

時は昨年7月15日の早朝、天気は雨。見物客は傘もささずにスタートを待っています。締め込み姿の男達は皆、目が血走っています。私の鼓動も高鳴ってきました。一番山笠は土居流。時刻4時59分。「うおーっ」と「オイサー、オイサー」とスタートを切りました。

一番山笠にのみ許される「祝いでた」を私も熱唱し、『追いやま(おいやま)』を満喫しました。いつか私も締め込み姿になるう!と密かに決意をしたのでした。

関西便り

そげな博多弁とこげな関西弁

井上 啓子(高22回 旧姓才田)

関西に住んで30年以上が過ぎるが、里帰りの時に気になっていることがある。甥や姪たちの話す博多弁がどこかおかしい。私が馴染んできた博多弁とは違う、妙な違和感があり、博多育ちではなく、方言の勉強をした人がしゃべる博多弁を聞くような心地悪さを感じる。姪にそのことを指摘すると「今はみんな、こげなしゃべり方だよ」と返事が返ってきた。その「こげ」に、引かかるのである。

そう思っていたら、古い友人から面白いことを聞いた。その友人は、関西に来てすぐに仲良くなった元同僚で、その後同じ関西人と結婚して、転勤で九州・四国と各地を転々とした後、現在は関東に居を構えている。

彼女が「最近お笑いの人が使ってる(つこてる)と読む)大阪弁がテレビでメジャーになってきてるけど、あんな、ほんまの大阪弁ちゃうよ。あんなに品悪い言い方せえへんわあ」と、嘆くのである。彼女によると、お笑い芸人が人気者になって、大阪弁が全国的にもはやされるようになった。初めて聞く人はそれが大阪で普通に使われている言葉かと思うかもしれないが、本当の大阪弁はもっと上品な雰囲気のあるものだという。たとえばお母さんのことは「おかん」ではなく「おあちゃん」と言う。彼女は大阪の人と結婚後、転勤の間も関西弁を絶やすることなく、家庭の中で20数年前の関西弁を言わば温存してきたことになる。その彼女からすると、最近テレビ番組

◆編集者の独り言
本紙の編集に参加して10年。この間、良き方々と出会えたのは感謝の限り。その気持ちを「表現」が仕事の身から考え抜いた言葉でなく軽いノリで恐縮だが、言葉でお返しすると、今、仕事と社会貢献も「社会同窓会」をめざす時代では、だ。より楽しく面白くなりそうな気がする。(高14回・福士)



で品の悪い大阪弁が、幅を利かせ氾濫していることは実に嘆かわしいことらしい。

かくいう我が家も、夫も同郷なので家庭内では現在もずっと博多弁が標準語である。子供たちは、育った大阪の言葉と、両親の博多弁に加えて生まれてすぐから度々里帰りすることによって更に磨きのかかった博多弁の、バイリンガルである。普段彼らは関西弁で話す、葉が標準語になり、私や友人の方言が変な方言を覚えたか?」と私もびっくりするような博多弁が飛び出したりして、れない。

なかなか楽しい。そして彼らは私に「おかん」と呼びかけるのである。博多弁はちゃんと話せるが、関西弁の言葉のしつけには失敗したかもしれない。

ちなみに、私は、漫画『誰も寝てはならぬ』サライネス著・講談社のセリフが、昔ながらの関西弁ではないかと思う。

言葉は、時と共に変わっていく、今の若者言葉が標準語になり、私や友人の方言が変な方言、といわれる時代がすぐそこまで来ているのかもしれない。

各委員会からの報告とお願い

◆企画委員会

堤義人(高30回)

企画委員会では、一昨年実験的に開催した勉強会の際に集めた同窓会員の意見を検討し、「勉強会を定期的に開催することが同窓会の付加価値を高めるのに有効な手段である」と考えました。このことを昨年1月の常任幹事会に諮った結果、この勉強会を「福高塾」と称して毎年定期的に開催することが東京福中・福高同窓会の事業として承認されました。

「き姿」の追求という本来の目的を忘れず、同窓会員の皆様に喜ばれる事業を続けてまいりたいと思います。

企画委員会では、今後も積極的に事業を展開していくために、協力していただけるメンバーを募り集めています。同窓会のために何かやってみたいとお考えの方、大歓迎いたします。また、日名子宗晃さん(高40回)デザインによる福高塾のロゴマーク(左上)が決まりました。

◆会計

馬場紀久夫(高10回)

昨年度の福高塾は、母校の創立90周年を祝し、東京福中・福高同窓会の記念事業として巻頭記事のとおり10月19日(金)に中村哲氏(高17回)をお招きして講演会を開催しました。記念事業ということもあつたせいか、参加者96名という規模の大きなものとなりましたが、今後も「同窓会のあるべき姿」の追求という本来の目的を忘れず、同窓会員の皆様に喜ばれる事業を続けてまいりたいと思います。

◆総務委員会

重松秀行(高21回)

昨年度は総務担当副会長として新たに光安健さん(高11回)が就任され、その強力なリーダーシップの下、総務委員会も当番幹事の皆さんとともに同窓会総会・懇談会の企画・準備に取り組んでいます。

◆名簿・会員拡充委員会

古賀芳和(高29回)

今号の特別企画記事にも記載のとおり、東京同窓会名簿の発行は「平成19年版」で取りやめになりました。個人情報保護の面での懸念とコスト削減が廃止の理由です。ここ数年の常任幹事会では積極的な廃止の意見は殆どありませんでした。昨年6月に学年常任幹事に対して実施されたアンケートでは、廃止という意見が大多数を占め、これを受けて、9月の常任幹事会で決定されました。

◆広報委員会

岩瀬智子(高39回)

広報委員会は東京あさぼらけ新聞とホームページを担当しています。ホームページは、管理者が高20回高木雅治さんから高43回今西邦仁さん、森崇王さんにバトンタッチとなりました。高木さんには、リニューアルから2007年10月までの管理・運営をお世話になりました。御礼申し上げますとともに、今後は、今西さん、森さんと魅力あるホームページを創っていききたいと思

◆編集後記

東京あさぼらけ新聞は、上は高7回から下は58回まで、昨年と同じメンバーで活動をしました。10号記念記事を何にしようかと相談していたところ、「緊縮財政へ協力要請」の連絡が入ったため、「同窓会って何だろう」の特別企画を組むことになりました。内容的にキャピキャピハッピーではありませんが、10号の節目には格好の記事になったのではないかと思っています。同窓生の皆さんの心に届き、同窓会が活性化するように願いを込めました。



懇親会の特別会計化が討議され、常任幹事会で承認を受けましたので、本年度から一般会計と特別会計の2本立てで進むこととなりまして、

「来て良かった!楽しかった!」と喜んでいただけると、熱い議論を交わされ

た。ただし、総会の案内状や東京あさぼらけの同窓会会員への配布を支援するために、これからも名簿データの集中管理は継

続いたします。住所変更や新規登録の際は、これまでどおり各学年の常任幹事へご連絡ください。また時が経ち、名簿復活の気運が高まる日が来るかもしれません。そのためにも常任幹事の皆様には、今後とも会員情報

「同窓会って何だろう」：若くて、良い問いかけだと思います。それぞれ世代が同じ「今」を生きていること、それぞれが素晴らしい答えを見つけていることができるでしょう。(高7回・黒田義治)

9月の鈴木君の取材は、福高の小会議室で行ったが、エアコンが効くまでに猛烈に汗をかいた。教室にはないはずで、3年前までの酷暑中での授業を思い出した。未だ大学で高校に冷房がなかったという人に会ったことがない。(高57回・酒匂貴市)

Advertisement for 'Tokyo Asaborake' magazine. Text: 広告お申し込みのお願い. 「東京あさぼらけ」では、同窓会活動をより活性化するため次号でも広告の掲載を予定しています。1コマ1万円(税込み)です。皆様のご協力をお願いいたします。お問い合わせ、お申し込みは、名簿・会員拡充委員会 古賀芳和委員長 電話番号 090-1402-3748 メール kogay@lily.ocn.ne.jp

08年同窓会総会・懇親会
4月19日(土)午後2時 虎ノ門パストラルは
「九州一熱い心の同窓会」!!
高15・25・35・45・55回 当番幹事一同

近ごろ、東国原知事の宮崎県が注目を集めています。しかし！九州の一番は福岡県でなくてどげんしますか？そして、その福岡の学校No.1が福岡・福高でなくてどげんしますか！そんな想いを込めて、今年の懇親会テーマは「九州一熱い心の同窓会」。至誠励業・剛健成風の校訓のもと、様々な部活動が全国大会で活躍してきました。一つ一つの目標に向かって仲間と力を合わせ、練習に励み、試合の結果に喜んで悔しい思いをした日々、研究や創作活動に打ち込んだ日々は、運動部、文化部共に福岡・福高生に「熱い」記憶を残していることと思います。

今回は、学校時代の「熱い」想いが甦るよう、部活動別に集う機会を設けました。同級生の横の交友にとどまらず、スポーツ・文化各クラブ活動を通じて世代を超えた縦の交流も活発にしていただきたプロスポーツ界で活躍中のOBに「熱い心」のお話をしていたいたり、部の代表に当時の想い出をご披露いただくことも予定しています。また、昨年、福岡で盛大に行われた90周年記念行事で披露された貴重な映像をスライド上映します。

07年度総会・懇親会報告
創立90周年を
422名で祝福
報告:野元 浩(高24回)

2007年の東京福中・福高同窓会の総会・懇親会は、4月21日、例年通り虎ノ門パストラルで開催されました。創立90周年の記念の年ということもあり、当番幹事(14・24・34・44・54回)一同、「どのようにお祝いとして盛り上げるか」に腐心し、毎月打ち合わせを重ね、福岡にも取材に行つて準備を進めました。午後2時からの総会に続き、3時から懇親会で会場は一気に暗転。スクリーンに、現在から過去へと母校の姿を投影。「祝九十周年」の文字に続き、校歌の歌詞が写り、伴奏が始まると着席の参加者の皆さんも起立して大合唱となりました。



経歴を持つ松田ゆう子さん(高24回)が福岡から参加。「24回生は毎月24日に同窓会を開いています」との自己紹介に会場が沸きました。

この日ばかりは福中・福高に想いを馳せ、青春の日々に深く浸れるような演出に心を配られます。さらに、記念品として三菱鉛筆Uni製の「世界一滑らかな書き味のボールペン」の特注版、白軸に福高カラーの文字入りノック式ボールペンを皆様に漏れなく進呈いたします。レア物です。

また、二次会に流れる皆様のための、会場周辺の虎ノ門・赤坂・新橋のお勧め店の案内図と電話等の情報を提供する「二次会コンシェルジュ・デスク」も設置します。多数のご参加をお待ちしています。

14回、柴田直毅さんの開会宣言、馬場一廣会長、来賓のご挨拶、鏡開きと進み、しばし懇談の後、今回の企画をスタート。最初は「福中・福高エピソード10」と題して、90年間の母校の映像を10年毎に区切って紹介。続く大抽選会は34回が進行、卒業生提供の作品等の賞品に盛り上がりました。

続いて高17回、中村哲氏のアフガンでの活躍を紹介した、1月放送のNHKテレビ「ようこそ先輩」のダイジェストを紹介。同期の古賀成治さん

がベシヤワール会の紹介と協力を要請。恒例の福岡の総会の紹介(幹事:高43回)、新卒で上京した3人の若き乙女の紹介と進みました。

◇事務局報告 黒永哲至(高26回)
 事務局の主な業務は、総会運営と各回の常任幹事との連絡及び年2回の常任幹事会の設置です。昨年の総会は4月21日に開催され、皆様のご協力が無事終了することができました。また、常任幹事会からの提案・審議のために6月18日に臨時常任幹事会を開催し、9月13日に通常の常任幹事会をアルカディア市ヶ谷で開催しました。それぞれに常任幹事と役員を含めて50名の参加がありました。

9月の常任幹事会で、今年2008年(平成20年)から同窓会総会の予算・決算を一般会計から切り離し特別会計化するということが決定しました。それに伴い、同窓会総会の決算を行う目的で新たに6月に常任幹事会を設置することとなりました。したがって常任幹事会は、2月・6月・9月の年3回となります。常任幹事の方はぜひ、出席をお願い致します。

現在55名の常任幹事の方は事務局に連絡先の届出がされていますが、高46・48・50・51回の届出がありませんので、届出のない各回の常任幹事の方は至急事務局までご連絡ください。また、常任幹事の方が転勤等に変更がありましたら、速やかに事務局までご連絡ください。

最後の締めめの応援歌、祝いでめでた、手一本は、高24回の「のぼせもん」がある博多より駆けつけ、本場の雰囲気仕切ってくれました。

帰りがけ、興奮さめやらぬ何人も参加者から「よかったバイ」と肩をたたかれました。当番幹事の1年間にわたる準備の報われた瞬間でした。

◆編集後記2
 同窓会は、同じ学校を卒業した「縁」に由る。同窓会に縁を感じるか否かは人それぞれで良い。今号が同窓会を考える一助になればと思う。創刊号より携わって第10号。もう卒業とも思うが、縁を思うと断ち難い。
 (高16回・齋藤利久)

同窓会のことを大真面目に考えた今号。せつかく会があるのだから楽しくありたいと思つています。今号も記事を通じてさまざまな同窓生と出会い、楽しめたように思います。ご協力に心から御礼申し上げます。
 (高39回・岩瀬智子)

会費の納入のお願い

同窓会総会の案内、「東京あさぼらけ」の送付にあわせて平成19年度会費納入(2千円)の払込取扱票(郵便振替)を同封させていただきました。払込取扱票の通信欄、ご依頼人欄に卒業年次、住所、お名前、電話番号を忘れずにご記入のうえ、会費をお払込みくださるようお願いいたします。郵貯のATMでの振込みも可能ですので、ATMもご利用ください。通信欄は名簿と照合し、住所変更がある場合は名簿を訂正して頂きます。ただし、平成20年度は中学卒、高校4回卒までの会員は会費免除です。

加入者名 東京福中福高同窓会
 払込先口座番号 00190-4-94980

東京福中・福高同窓会ホームページにある「同窓会からのお知らせ会費のお支払いについて」も参照ください。ご不明な点は会計の馬場紀久夫(高10回)までご連絡下さい。メールアドレスは次のとおりです。
 Kbaba5182@amy.hi-ho.ne.jp